

腫瘍細胞の生存を低下させるDFFA核酸医薬

呼吸病態学 和泉弘人

利用分野

遺伝子治療で用いる核酸医薬。とくに、細胞死の過程でDNAの断片化を引き起こす蛋白であるDFFAはDFFA遺伝子によってコードされるタンパク質である。この遺伝子を標的としたアンチセンス核酸配列を提供する。

シーズ

腫瘍細胞の生存率を低下させる最適なアンチセンス核酸の配列である。DFFAをコードする核酸分子を標的とする塩基数25個のアンチセンス核酸配列のうち特定の3種類の配列は、腫瘍細胞の生存率を40%未満に抑制することができる。

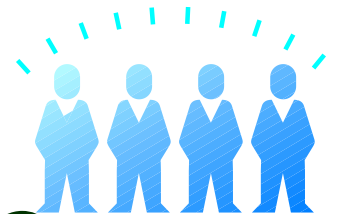


ニーズ

DFFAは、腎臓がんや肝臓がんの診断マーカーになることが分かっており、当該遺伝子の発現抑制は腫瘍細胞の生存を低下させることが期待されている。但し、最適な配列は不明であった。

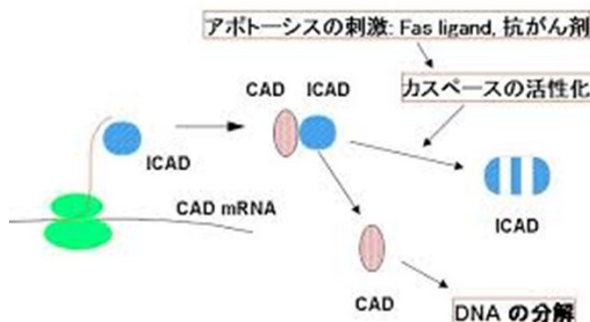
連携分野

- 核酸医薬の開発に取り組む企業とのコラボ
- 核酸のDDS技術を有する研究機関とのコラボ



知財保護

特願2020-007858



DFFAは細胞死を誘導する蛋白



本学マスコットキャラクター
ラマティ



産業医科大学

産業医科大学 産学連携・知的財産本部

〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp